

新潟大学広報誌

新大広報



Niigata University Campus Magazine

2007年春号

No.164

特集

華の学生生活

キャンパスガイド

健康コラム

健康な大学生活を送ろう

CAMPUS INFORMATION

第48回黎明祭

shindai NEWS

学務部からのお知らせ

キャンパス周辺マップ

学生なんでも相談窓口



五十嵐キャンパス

Ikarashi Campus

海の近くに位置する、自然豊かなキャンパス。
広大な敷地には数多くの“学ぶ”場所が集まっている。



10 人文学部・法学部・経済学部



11 現代社会文化研究科



12 第1学生食堂 13 第2学生食堂
14 第3学生食堂



1 工学部



2 自然科学研究科・技術経営研究科



3 理学部



4 教育人間科学部



5 野球場



6 厚生センター (1F書籍部 2F購買部)



7 総合教育研究棟
(人文学部・国際センター・キャリアセンター)
IT自習室ではパソコンを自由に利用できます。



9 農学部



8 第1学生食堂前の広場は多くの学生が集う場となっています。

旭町キャンパス

Asahimachi Campus

新潟市中心部に位置する、
歴史あるキャンパス。



医歯学総合病院が隣接し、
教育・研究・診療が一体となっている。



① 教育人間科学部附属学校



② 歯学部



③ 医歯学総合病院 歯科診療棟



④ 旭町キャンパスの名物となっている桜は、学生たちをはじめ多くの市民に春の訪れを告げる。



⑤ 医歯学総合病院 内科診療棟



⑥ 医聖ヒポクラテスを記念したヒポクラテスの木。



⑦ 医学部医学科



⑧ あさひまち展示館



⑨ 新潟師範学校跡の碑



⑩ 医学部保健学科

華の学生生活

大学時代は、長い人生の中で最も貴重な時間の一つ。何のために大学生を送るのか、新しいスタートの時期である今、改めて考えてみませんか。目的を持って大学生を送っている先輩たちからいただいた、みなさんへの応援メッセージを紹介します。

Student Clinician Program

***** 歯学部 * 歯学科 信田 智美

私は3年生の時に掲示板に貼ってあったポスターを見て、この研究発表会のことを知り、前年度出場した先輩の学内発表会を見学したことが出場のきっかけです。

この研究発表会の目的は、日頃の歯科医療（臨床医Clinician）について、歯学部生(Student)の視点で観察し、課題を見つけ、これについて研究することです。発表は英語で、テーブルクリニックという特殊な形式で行われます。テーブルクリニックでは、ポスター掲示の他に、テーブル上に模型や装置を展示し、これらを用いて発表中に実演・説明することができます。全国の各大学歯学部からの代表1チームが、東京都にある日本歯科医師会館において各々の研究を発表します。そして、日本を含めた各国の優勝者は、アメリカ歯科医師会への招待を受け、研究発表の機会を得ることができます。

新潟大学歯学部では、興味のある学生であれば誰でも参加することができます。研究発表にたどり着くまでには、多くの時間と



本人は前列左から2人目

手間がかかります。当日の発表者(Clinician)とサポートメンバー(co-Clinician)がチームを作り、放課後・休日を費やして研究に取り組みます。

私はClinicianとして2度の発表機会をいただき、各3人のco-Clinicianと出場しました。

発表会場では全国の歯学部生の発表を聞き、大いに刺激を受けました。発表後には交流会があり、互いのチームの苦労談などを話したりします。すると、数時間話しただけで、その日初めて会った人とは思えない程に打ち解けます。そんな仲間の中から代表者が選ばれ、アメリカで発表します。

歯学部では、講義・実習がぎっしりと詰まった学生生活を送ることができます。また、研究・部活・アルバイトをすることで、さらに充実した時間にできることを知っておいてください。学生生活で与えられる多くのチャンスを生かして、自分が興味を持ったことを試してみてください。



本人は左端

大切なもの

***** 教育人間科学部 * 学習社会ネットワーク課程 清水 千恵

私は、世界に携わりたい、国際関係の仕事に就きたいと思っています。日本と世界をつなぐことに関わっていききたいというのが私の夢です。だから、国際関係や語学などにはすごく興味がわきます。そんな私が大学に入学する際に選んだ初修外国語は中国語でした。そして、偶然にも私の所属する課程では中国での国際交流事業が行われていました。私は国際交流への興味と中国への興味でその事業に参加することをすぐに決めました。この事業では、中国のいくつかの大学の学生と交流を行うのですが、その交流の中ですごく印象に残っていることがあります。それは、中国の学生が「正しい目で我々の国を見てほしい」と言ったことです。現代において、私たちは報道などで得ることだけを全てと捉えてしまいがちになってしまいます。しかし、報道されていることは決して全てではなく、ほんの一部に過ぎないのです。中国の学生は、中国で起こった反日デモはほんの一部の人間が起こしたことだと言っていました。世の中に溢れる情報のみで外国を見るのではなく、正しい目で外国を見ることが今もそしてこれから先もずっと大切なことなのだと感じました。この国際交流事業で得られるものは私にとってとても大きいものだと思います。だから、1年2年と参加し、このまま3年4年も参加したいと思っています。

大学は自分の意思で行動できる自由なところと言えます。だからこそ自分がやりたいと思ったことなど好きなことがいくらでもできます。しかし、自分が動かなければ何も始まりません。大学では、自分の意思というものが非常に大事になってくると思います。興味を持ったことに積極的に取り組むなど、思うことを何

か行動にうつしていくことで自分自身がひとまわりもふたまわりも大きくなれるところだと私は思います。夢に向かい、後に振り返ったときに、自分の大学生生活は濃くて有意義なものだったと言えるような大学生生活を送ってほしいと思います。



中国深圳の町並み



中国珠海：北京師範大学珠海分校にて。学生と。本人は中央



中国北京:故宮にて 本人は中央

華の学生生活

Study Abroad: the Sweet and the Bitter

***** Graduate School of Science and Technology * Ould Elemine Cheibany (Mauritania)

Ever since my elementary school years, like any other African kids, my dream was to study abroad, be a doctor and discover a new horizon. My dream came true when I was granted a scholarship for graduate studies in Japan after the four years of hard work at a university in Mauritania, my country.

The opportunity to study in Japan was not really my wish because of a language barrier, the lack of information about Japan, and in addition its location that is far away from my home country. However, I accepted the challenge. For us, Japan meant the country of *samurai*, *sumo*, computers, and cars. Thinking about the work ahead, I was anxious but also excited to discover a new life style and a new way of thinking and finally meet the samurai. I really expected to see a samurai right after I go out of the airport. Instead, I met a nice Monbusho staff whose French competence was only "Je t'aime." For me, landing after a two-days trip, with no more than two Japanese words in my head, this signaled the beginning of the challenge. The first few days getting used to my new environment was the most I could do. It was my first experience that I had to spend more than 2 hours in a room by myself. Growing up in a large family with many brothers and uncountable number of cousins, being alone was a strange experience but I enjoyed it for a while. I must say that I enjoyed the international environments I was in, many people from all over the world, new friends, many places to visit, parties, and lots of *kanji* to memorize, too. I particularly enjoyed the discussions and chats I had with students from a volunteer circle of Niigata University even though I needed to mix some French, English and some broken Japanese to express myself. They seemed to understand me even when I couldn't understand myself. I never worried about doing everything right at the first. I only needed to try to express myself as it was the challenge.

Trip to Sado Island with Foreign Friends (本人は正面)



The first months were full of joy and surprises, that is, memories that will remain forever with me. I went out to a convenient store to buy sugar but bought salt or brought vinegar instead of oil, or confused *ninjin* for *ningen*. For a foreign student, there will be also moments of tears and sadness when homesick little by little sets in. Sometime you may ask yourself over and over again, 'why am I here? Can I make it?' Even though you may not immediately find the right answer, you will somehow find the strength to keep going. Why? You made it here and surely have the strength to make it through and out of here.

As time goes by, I came to get accustomed to my new life style, and now understand how things go. I owe this to the supports of the Japanese and foreign friends I made but also the communications and chats with my supervisors. Many of you will find it sometime hard to get hold of your teachers, but you should never get disappointed. After all, it is your supervisors who are responsible for your studies as they are the one who have accepted your application.

Some in the administration or other research group people may act cold to you or seems not to understand you when you try to communicate with them. Do not feed desperate or repulsed. Just remember that you could have the same problem even at your home country in an opposite way. Make yourself understood as clearly as possible or simply ask others for help.

My big surprise was the amount of free time Japanese students enjoy. In Mauritania, after an entire year of hard work one is still unsure whether he will make it to the next level. In Japan, university students spend a year almost like a vacation and don't seem to be nervous about their grades. While in many countries study at university means years of hard work, in Japan it is taken as a time for "playing and traveling."

Cherry Blossoms Party at the Bank of the Shinano River (本人は右奥)



snowman design in front of cafe1



自分に合った場所を見つけて自分なりの学生生活を

***** 農学部 * 応用生物化学科 * 新潟大学プレスそよかぜ 田中一也

新入生のみなさま、聞き飽きてしまったころかもしれませんが、ご入学おめでとうございます。今年も新たな後輩たちが入ってくることを素直に喜んでいます。

我々のサークルについて少し説明をさせていただきます。「新潟大学プレスそよかぜ」は、新潟大学唯一の公認学生新聞です。中門のサークルK脇の「nipponキャンパス館」に編集室があり、日夜活動に励んでおります。発行は隔月で、学内の各所のみならず、周辺の地域の方々へも新聞への折り込みという形で配布させていただいています。発行部数は1万部であり、その活動費のほとんど、編集室を新潟日報の販売店から援助、提供していただいているというも、そよかぜの特徴です。

部活、サークルや、学内イベントの取材と、記事の編集が主な作業となります。普段から多方面に取材を行って、紙面を作成していますが、時には独自の企画を紙面に盛り込み、単調な文面にならないように日々努力しています。

さて、私事ですが、友達に「説明会に一人だと不安だからついてきて!」と頼まれ、知らず知らずのうちに副部長をやらされる羽目になりました。こんな僕に大役を押し付けて!どうなっても知らないぞ!とかやっていたら、今回、新大広報にまで拙文を書くことになった次第です。みなさんも慎重にサークルは選びましょう。

最後は、サークルを紹介しているのか、自分の愚痴を言っているのか、何だかよくわからない文書になってしまいましたが、どこの部活、サークルに入っても、自分次第で楽しくも辛くもなります。もちろん僕が言わなくともわかっているかと思いますが、自分に合った場所を、みなさんが見つけれられるように心からお祈りして

おります。

長文を最後まで読んでいただきありがとうございました。ちなみにそよかぜ編集室はとっても楽しいのでみなさん一度おいでください。できればメンバーになってください。4月から説明会をやっています。僕を早く引退させてください。嘘です。あー、新聞作りって楽しいな!

俺たち「そよかぜ」!



たのしい編集作業中 本人は手前



健康な大学生活を送ろう

健康 コラム

保健管理センター 青木 定夫



春がやってきました。新潟では、梅も桜も一緒に咲くと言われるほど、日本海からの強い季節風にさらされた冬が終わると新しい季節は駆け足でやってきます。もっとも今年はいわゆる暖冬異変で、暖かい地方のように1月終わりには新潟市の白山公園でも梅の開花が伝えられたのでした。

新しい季節、新しい生活、とくに新入生の皆さんは、はじめて親元を離れて一人暮らしを始めた人も多いと思います。新潟という街になじみのない人もたくさんいますね。つらかった受験勉強を終えてようやく手にした『自由』、目標に向かって大学生活を大いに謳歌してください。

学生生活を送るのに欠かせないこと、これは心身の健康です。健康でなければ何事もできません。未知の環境にさらされると、その適応には個人差があって、なかなか新生活になじめないことは決して珍しいことではありません。大学という『社会』は、いくら学生といっても、学問だけしていればいわけではなく、多くの人と触れ合いによって形成されていきますので、それに大きなストレスを感じることは当たり前のことです。また、授業だけでなく、課外活動やアルバイトなど、あるいは友達との付き合いなどで、生活時間は不規則になりがちですし、食事も偏ってしまうことも多いでしょう。そんな暮らしを続けていると、知らず知らずに身体を壊すことになりかねません。若いから大丈夫と健康を過信していると、突然激しく体調を崩して、長期の療養を余儀なくされたり、中途半端な活動しかできなくなってしまう、そういう危険があることに注意が必要です。そんなに大げさなことでもなく、風邪をひいて高熱を出したり、おなかを壊して激しい腹痛や下痢におそわれたりすることは誰でも経験します。一人暮らしでは、看病してくれる人もまわりにいませんから、不安が強くて、とても心細く感じることもありますね。こういう『普通の』病気は、どうしても年に数回かかるのは避けられません。そんな場合に備えて、薬局から感冒薬や胃腸薬は購入してきておいて、特に夜間や休日の発病に備えておきましょう。

健康な大学生を送ること、それにはできるだけ規則正しい生活を送り、バランスの取れた食事を3度3度きちんと摂ること、十分な休養と睡眠をとることが基本です。また高校時代はスポーツをしていたのに、大学にはいると体育の授業以外では運動をする機会がないという話も聞きますし、逆に自分の体力以上の過激な運動を無理にしてしまうということもあるようです。自分にあった適度な運動をすることが重要です。

新潟大学保健管理センターでは、そんな皆さんの身体面と精神面の健康相談に対応しています。場合によっては薬を出したり、専門医を紹介することもできます。学生健康診断では身体面のほかにメンタルヘルスのチェックも実施しています。あなたの健康を守るため、健康診断は必ず受診してください。

センターには、健康増進室が開設されており、簡単な健康チェックや、エアロバイクによるエクササイズなどが、無料で利用できます。

センターのホームページ (<http://www.2cc.niigata-u.ac.jp/~hoken/HAC-niigata.html>) には、健康診断の予定やセンターの利用の仕方などのほかに多くの健康情報が載せてありますので、ブックマークに登録して少なくとも一週間に一回は閲覧してみてください。

皆さんの大学生活がすばらしいものになりますように。



- 保健管理センター(五十嵐地区)
Tel.025-262-6244 Fax.025-262-7517
- 旭町分室(旭町地区)
Tel.025-227-2040 Fax.025-227-0748

利用時間/8:30-17:00(土・日曜、休日は除く)



CAMPUS INFORMATION

第48回黎明祭 2007年 4月21日(土)

～新入生の皆さんへ～

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学は新しいことを始めるのにとってつけの場です。これを機会に部活動に入ってみてはいかがでしょうか。

大学には高校までのものと違い、運動系・文化系に関わらずさまざまな活動をしている部活やサークルがあります。新潟大学には運動系・文化系合わせて、100を超える部活動があります。そのほかにもたくさんのサークルがあり、皆さんのやりたいことがきっと見つかるでしょう。

部活動を知る機会として、新潟大学には毎年4月に黎明祭というものがあります。今年は21日に開催され、さまざまなイベントが催されます。各部活を紹介するブースやアピールタイム、ステージで行われる音楽系サークルとゲストのライブ、さらに会場では豚汁の無料サービスを行っています。

黎明祭の日にはぜひ新潟大学に足を向けて、部活動やサークルの活動に接してみてください。

黎明祭実行委員会実行委員長
工学部2年 加藤 宏和

豚汁のサービス。おいしいかな?



1年生だからお酒はなし!



ゲストも来ています

第48回黎明祭プログラム予定



プログラム/会場

- 🎵 音楽系サークルライブ
●第1食堂前広場特設ステージ
(雨天の場合、大学会館大集会室)
- 🐷 豚汁無料サービス
●第1食堂前広場
- 🎤 ゲストによるステージショー
●第1食堂前広場特設ステージ
(雨天の場合、総合教育研究棟E-260)
- 📄 部活動紹介ブース
●総合教育研究棟
- 📄 サークルアピールタイム
●総合教育研究棟E-260

日頃の練習の成果を発揮



学務部からのお知らせ

大学からの連絡事項は、次の方法で行います。

- ①各学部・研究科及び学務部の「**掲示板**」
- ②統合型学務情報システムの「**連絡通知**」
- ③統合型学務情報システムの「**電子メール**」

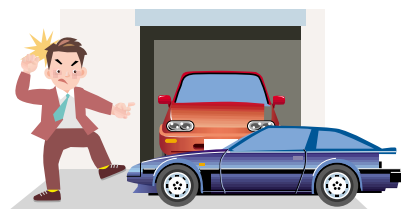
必ず1日1回は、「**掲示板**」及び「**連絡通知**」を確認する習慣を身につけましょう。

※統合型学務情報システムの「**連絡通知**」や「**電子メール**」は、携帯電話からも確認できます。

「**連絡通知**」及び「**電子メール**」は、学部等の掲示板に貼り出されている掲示物の全てが掲示されるわけではありません。各学部等の掲示板には、重要な情報が掲示されますので、掲示情報を見落とすことがないように十分に注意してください。

違法駐車

大学周辺への違法駐車は、地域住民や店舗への迷惑になるので、絶対にしてはいけません。



違法駐車として特に問題となっているところ

- 新大西門隣接のコダマ薬局の駐車場
- 新大西門向かいのセーブオン脇の敷地
- 新大西門向かいのセーブオン駐車場

インターネットの利用上のマナー

マナー

- ネット上での無責任な行動は慎みましょう。
- インターネットの世界は大変便利な通信手段や情報発信源ですが、無責任に人を誹謗・中傷する舞台にもなりうる世界でもあることを認識してください。
- 不特定多数の人々がインターネットを利用することを念頭において、ネット上での自分の言動には責任を持って対応してください。

注意事項

- 怪しいサイトには絶対に入ってはいけません。
- 個人情報をネット上に公開するときは注意しましょう。ネット上にある写真や絵、著作物は著作権法上の対象になっていることを認識してください。
- 肖像権やプライバシーを侵害してはいけません。

ゴミ処理

ゴミ処理のマナーが悪く、学内外において大きな問題となっています。

ゴミ出しは、一人ひとりができる環境活動の第一歩です。地域住民とのより良い関係を築くためにも、ゴミ出しのマナーは必ず守りましょう。

新潟市のホームページにゴミの収集等について情報が掲載されていますので、確認してください。



<http://www.city.niigata.jp/kurashi/index.html#gomi>

キャンパス周辺 MAP 旭町キャンパス





キャンパス周辺 MAP

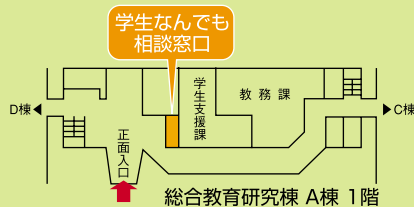
五十嵐キャンパス

- 凡例
- コンビニ
 - 食事&喫茶
 - 居酒屋
 - パン・弁当屋etc
 - レジャー
 - その他のお店
 - 医療機関
 - 郵便局(ポスト)
 - 銀行

この地図は2007年3月現在のものです

学生なんでも相談窓口

学生のみなさんの学業、進路、人生、対人関係、家庭、経済等の問題で悩みや困りごとについての相談に応じられるように「学生なんでも相談窓口」を設置しています。ひとりで悩まず気軽に相談に来てください。相談は、電話、電子メールあるいは直接窓口で受け付けます。



● 受付時間 ● 8:30~17:15 ● 電話 ● 025-262-7524

● メールアドレス ● gakumado@adm.niigata-u.ac.jp

● 場 所 ● 総合教育研究棟 A棟 1階 学務部学生支援課内

学外の相談機関等



犯罪被害等に関する相談

- 警察本部けいさつ相談室
TEL. 025-283-9110 (警察本部)
警察業務に関する相談、要望、苦情など全般
- 犯罪被害者対策室
TEL. 025-285-0110 (警察本部)
犯罪被害に関する相談全般
- 女性被害110番
TEL. 025-281-7890 (警察本部)
性犯罪の被害に関する相談



悪質商法による被害の相談

- 新潟県消費生活センター
TEL. 025-285-4196
- 新潟市消費生活センター
TEL. 025-228-8100



カードに関する相談

- 日本クレジットカード協会
TEL. 03-5563-6526



心の健康に関する相談

- 新潟県精神保健福祉センター
TEL. 025-280-0113
- 新潟いのちの電話(心配事相談)
TEL. 025-288-4343



人権相談、性別による差別的取扱い等に関する相談

- 新潟地方法務局人権擁護課
TEL. 025-222-1563
- 新潟県男女平等推進相談室
TEL. 025-285-6605



交通事故に起因する諸問題に関する相談

- 新潟県交通事故相談所
TEL. 025-280-5750
- 市民相談室
TEL. 025-226-2065



市民生活における悩みやトラブルに関する相談

- 市民相談室
TEL. 025-226-2065



休日診療

- 新潟市急患診療センター
TEL. 025-232-1199
- 新潟県歯科医師会休日歯科診療センター
TEL. 025-283-3030



北陸ガス
TEL. 025-228-2131



東北電力
TEL. 025-223-3141



新潟市水道局
TEL. 0120-411-002

広報委員会第1部会

部長・編集委員長

石坂妙子(教育人間科学部)
ishizaka@ed.

委員

田中拓道(法学部)
takujit@jura.

芳賀健一(経済学部)
haga@econ.

竹内照雄(理学部)
takeuchi@math.sc.

柴田 実(医学部医学科)
mshibata@med.

川瀬知之(歯学部)
kawase@dent.

林 豊彦(工学部)
hayashi@bc.

末吉 邦(農学部)
sueyoshi@agr.

井村哲郎(大学院現代社会文化研究科)
imurat@human.

杉山博信(大学院自然科学研究科)
hydsugi@cc.

横山峯介(脳研究所)
myoko@bri.

田口 洋(医歯学総合病院)
yo@dent.

馬淵憲治(学務部長)
kmab@adm.

事務局(学務部)

TEL 262-6309 FAX 262-6304

E-mailのアドレスは、
niigata-u.ac.jpの標記を省略しています。

■新潟大学ホームページ <http://www.niigata-u.ac.jp/>

新大広報 Back Number http://www.niigata-u.ac.jp/gakugai/pr/c_forum/

新大広報のバックナンバーは上記のURLから見ることもできます。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。



新潟大学広報誌

Niigata University
Campus Magazine

新大広報

No.164

2007 春号

編集・発行 / 新潟大学広報委員会・新潟大学学務部
印刷 / 第一印刷所